C&G SYSTEMS INC.

16th Interim Business Report

第16期第2四半期 株主通信

2022年1月1日～2022年6月30日

CREATIVE & GLOBAL & SOLUTION

世界を築く、創造のソリューション。

株式会社C&Gシステムズ

証券コード：6633

To Our Shareholders

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、いつも変わらぬご支援を賜り誠にありがとうございます。2022年12月期第2四半期の営業概況について、ご報告申し上げます。

ー 2022年12月期第2四半期の業績は？

前年同四半期比で売上高＋11.4%、営業利益＋31.6%の増収増益で推移

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、売上高21億44百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益2億52百万円（前年同四半期比31.6%増）の増収増益となりました。

（1）CAD/CAMシステム等事業

CAD/CAMシステム等事業の売上高は17億7百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は1億99百万円（前年同四半期比6.7%増）と、若干の増収増益となりました。

国内においては製造業向け政府補助金の採択時期などの影響から第1四半期連結累計期間に売上が偏重しましたが、総じて堅調を維持し、第2四半期連結累計期間では前年同四半期との比較で微増となりました。また研究開発においては主力製品の製品競争力向上のためのリニューアル開発および、AI・自動化等の技術を用いた高付加価値製品の研究を継続しました。

一方海外の製品販売は、コロナの影響を受けた中国、前期好調を維持していたベトナムでの不振が影響し低調に推移しました。またタイおよびインドネシアは回復基調にあるものの不安定な市場環境が続いており、回復の鈍化が見られました。

（2）金型製造事業

金型製造事業の売上高は4億37百万円（前年同四半期比94.3%増）、セグメント利益は53百万円（前年同四半期比953.7%増）と、大幅な増収増益となりました。金型製造子会社においては、2021年下期に堅調に推移した受注による売上が当第2四半期連結会計期間に集中したことに加え、円安の影響により円換算では収益がさらに拡大しました。

ー 2022年下期の動向は？

通期連結業績予想は据え置き金型周辺市場への展開にも注力

2022年下期においては、コロナの再拡大、資源価格の高騰等により製造業の設備投資意欲が再び抑制されることも考えられるため、依然として不透明な状況が想定されるものの、CAD/CAMシステム等事業は引き続き堅調に推移するものと見込んでおります。主力製品に加え、部品加工市場、IoT分野、積層造形分野等の金型周辺市場への展開にも注力し、事業拡大を目指します。

また金型製造事業については、2022年上期時点の売上・利益が共に想定を大きく超えて推移していますが、資源価格の高騰に伴う利益率の低下、物流の混乱等の懸念材料もあり、楽観視はできない状況です。

これらの状況から、現時点では、通期連結業績予想については据え置きとさせていただきました。見通しに変化が生じ、業績予想の修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

今後も世界のモノづくり分野において、「グローバル・ニッチ・トップ」を目指し、顧客満足度向上、ひいては企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社へのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

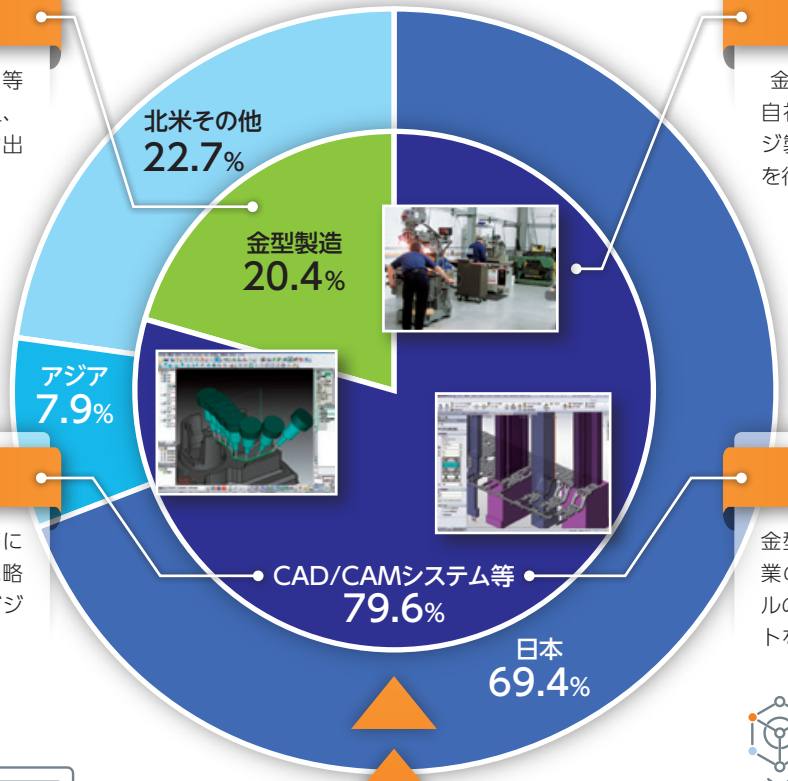
2022年８月吉日

代表取締役社長　塩田 聖一

Overview by Business Segment

仕向地別セグメントの概況

2022年12月期第2四半期　連結売上高比率



金型製造事業

北米を拠点に、自動車部品等の元となる金型製造の請負、および関連設備の販売・輸出入を行います。

CAD/CAM パッケージ事業

金型設計加工分野を主とした自社開発CAD/CAMパッケージ製品の販売・保守サービスを行います。

OEM事業

金型関連市場、隣接市場等に対し、既存のコア技術を戦略的に提供することで新規ビジネスの創出を図ります。

製造向けSI事業

金型製造の全工程に対する作業の効率化、標準化支援ツールの企画・開発・販売・サポートを行います。

CAD/CAMシステム等事業　主力製品

Topics

事業トピックス

当社では2022年4月に大阪にて開催された「INTERMOLD2022」、および6月に東京にて開催された「次世代3Dプリンタ展」に、それぞれ出展いたしました。

INTERMOLD2022

会期直前までまん延防止等重点措置が発令されるなど、依然としてコロナ禍の影響を強く受けながらも開催されたINTERMOLD2022。入場者は事前登録制だったこともあり、総来場者数は最後に開催された4年前との比較では6割減となりましたが、当社ブースへは金型・自動車関連業ユーザーを中心に前回の7割程度の方々にご来場いただきました。ブースでは当社CAD/CAM製品・IoT製品の導入効果とメリットを、最新事例を交えてご紹介するとともに、密を避けるための「オンラインデモ」を実施、ご好評をいただきました。

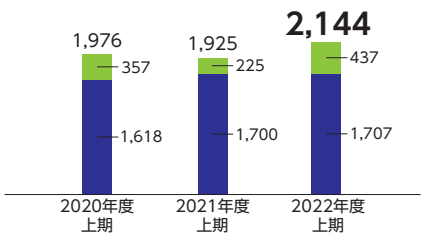
次世代3Dプリンタ展

会期中はコロナ以前を思わせるような多くの来場者があり、総来場者は前回（2020年）との比較で4倍近くになりました。本展示会はローランド ディー.ジー. 社様との共同出展で、当社製品「Craft MILL」の最新バージョンV11の展示および、最新システムツールを使用した小ロット生産システム「DESIGN FACTORY」ならびに「デジタルモールドNC」の展示を行いました。「DESIGN FACTORY」の導入事例紹介ではブラザー工業社様をお迎えし、プレゼンテーションを行っていただき、多くの来場者の注目を浴びました。

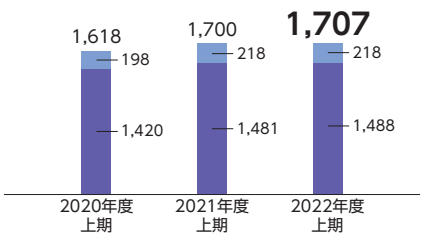
Financial Highlights of First half of 2022

2022年度上期連結決算ハイライト

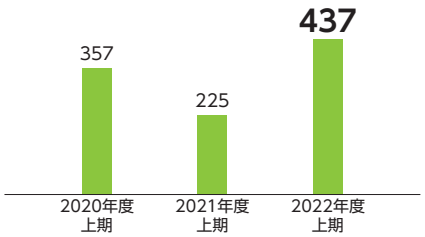
売上高 (単位：百万円)



CAD/CAMシステム等事業 売上高 (単位：百万円)



金型製造事業 売上高 (単位：百万円)

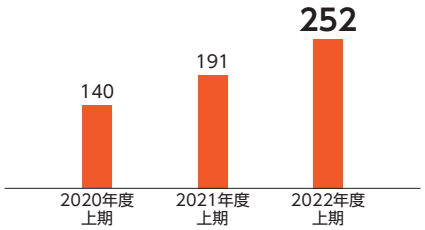


売上面

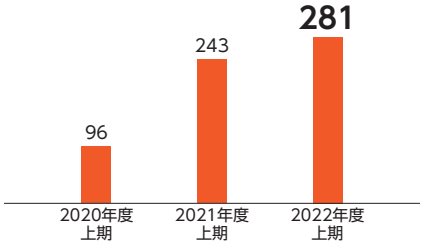
CAD/CAMシステム等事業の売上高は、前年同四半期比＋0.4％と、微増となりました。上期の製品販売は国内の製造業向け政府補助金の採択時期などの影響から第1四半期連結累計期間に売上が偏重しましたが、総じて堅調を維持しました。海外では主にコロナの影響により活動制限を強いられた中国で落ち込んだほか、ASEAN地域では前期好調を維持していたベトナムでの不振が影響し低調に推移しました。

金型製造事業の売上高は、2021年下期の受注による売上が当第2四半期連結会計期間に集中したことに加え、円安の影響を受け、大幅な増収となりました。

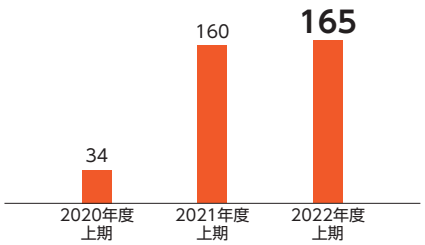
営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位：百万円)



利益面

CAD/CAMシステム等事業、金型製造事業ともに増収だったことから、営業利益は前年同四半期比＋31.6％と前年同四半期を大きく上回りました。なお経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同四半期に計上した営業外収益（主に子会社の債務免除益）が当第2四半期連結累計期間に計上されなかったことなどから、営業利益よりも利益の増加割合が低くなっております。

通期の見通し（連結）

(単位：百万円)

	2021年度 通期	2022年度 通期予想	増減額	増減率
売上高	3,744	3,949	＋204	＋5.5％
営業利益	276	298	＋22	＋8.0％
経常利益	377	327	△49	△13.2％
親会社株主に帰属する当期純利益	218	219	＋0	＋0.1％

通期連結業績予想に対する第2四半期時点での連結業績は、売上高は5割、営業利益は8割を超え進捗しており、また足元の業績も堅調に推移しております。しかしながら長期化するコロナ、原材料高騰、物流の混乱等の影響も懸念され、先行き不透明な状況が継続しているため、通期連結業績予想数値については現時点では据え置くことといたしました。

Corporate Data

会社概要 (2022年6月30日現在)

社名	株式会社C＆Gシステムズ (C＆G SYSTEMS INC.)
設立	2007年7月2日
資本金	5億円
従業員数	240名（連結）
本社所在地	（東京） 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー19F （北九州） 〒806-0067 福岡県北九州市八幡西区引野一丁目5番15号
電話番号	03-6864-0777（代表）
事業内容	金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート
主な拠点	（国内） 東京支店、大宮支店、名古屋支店、大阪支店、九州支店 （テクニカルセンター） インドネシアテクニカルセンター （海外子会社） CGS ASIA CO., LTD.（タイ） CGS NORTH AMERICA INC.（CANADA）（カナダ） Tritech International, LLC（アメリカ） （海外代理店） IGPNET社（韓国） Shanghai C.J System Technology社（中国） Createwell社（台湾）

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会　毎年12月31日 期末配当金　毎年12月31日 中間配当金　毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031
公告方法	電子公告（https://www.cgsys.co.jp/） ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場